



平成27年7月17日

各位

会社名 Oakキャピタル株式会社
代表者名 代表取締役会長兼CEO 竹井 博康
(コード番号 3113 東証第二部)
問合せ先 IR・PR室長 小玉 誠一
(TEL. 03-5412-7700)

株式会社ピクセラ (東証2部 6731) に向けた再生投資のお知らせ

当社はこの度、株式会社ピクセラ (以下「ピクセラ社」) の再生支援を目的とした総額14億円のエクイティファイナンスの引受を決定いたしましたので、その概要に関し下記の通りお知らせいたします。

記

1. 「IoT関連事業」を中心に新たな事業領域の確立を目指すピクセラ社の戦略を支援

ピクセラ社は創業以来、デジタル機器を中心に、Windows、Mac、Android等あらゆる規格でソフトウェアからハードウェア半導体設計に至るまで自社で開発し、マルチメディアを身近にする新しい製品を提供してまいりました。

しかしながら、インターネットやブロードバンドの市場が大きく変化する中で、同社にとって既存事業の再構築と新事業への転換が必要であります。当社は、同社の再生と成長戦略を推進するに当たり、同社の財務体質改善と再生支援を目的に、総額14億円のファイナンス引受を実施することといたしました。

2. ピクセラ社への投資総額14億円の内訳

新株の引受	： 3億円
新株予約権の引受	： 11億円 (権利行使による払込み予定総額)
合 計	： 14億円

※投資後の当社出資比率は48.82%であります。

3. Oakキャピタルによる支援内容

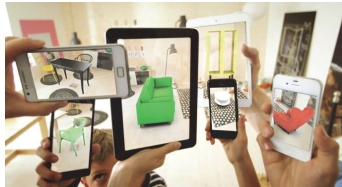
- (1) この度の増資による資本強化により、債務超過の解消および財務体質の大幅改善。
※上場廃止に係る猶予期間入りとなっておりますが解消される見込みです。
- (2) 第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の繰上償還の資金手当て。
- (3) 同社の展開する「IoT関連事業、自動多言語翻訳システム事業及びAR/VR事業」の顧客や事業提携先の紹介。
- (4) 同社の高い技術力を活かし、当社のネットワーク先であるゲームメーカーとの共同開発などを後押し。

4. 同社の新たな収益基盤の構築と将来の中核事業としての事業戦略

① AR/VR事業

- ・ 同社の映像処理技術をベースに、AR (Augmented Reality) 及びVR (Virtual Reality) の活用により、これまでになくサービス提供を企画・開発。3Dデータの作成や3Dネットショッピングモール開発・運営、ARを活用した広告制作事業と広告掲載事業などのサービスを提供。
- ・ VRを活用したゲームアプリを開発していく計画。

■AR 実用例



・ 3Dカタログ

実空間にARで商品配置、より詳細なイメージが確認出来る

■VR 実用例



・ 3Dショッピング

家にいながら実店舗にきたかのように商品を探し、買い物ができる



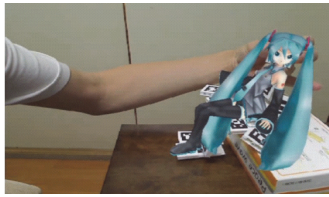
・ 3Dオークション

3D表示で商品を確認出来る。中古車・古美術品のオークションに最適



・ 3Dゲーム

新感覚のゲーム体験が出来る



・ 3Dコンテンツ

空間上に3Dキャラクターを出現させるなど、新しいコンテンツビジネスを創出

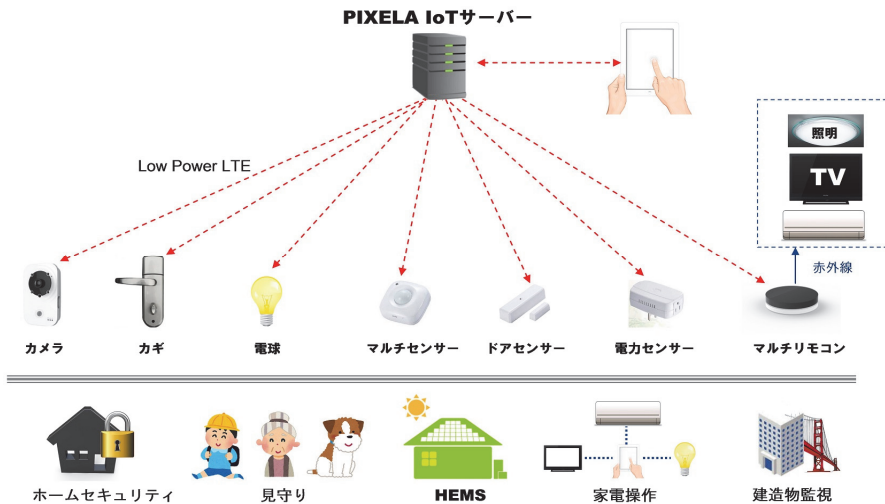


・ 3Dプロモーション

住宅展示場に入り、VRでバーチャル住宅見学が出来る

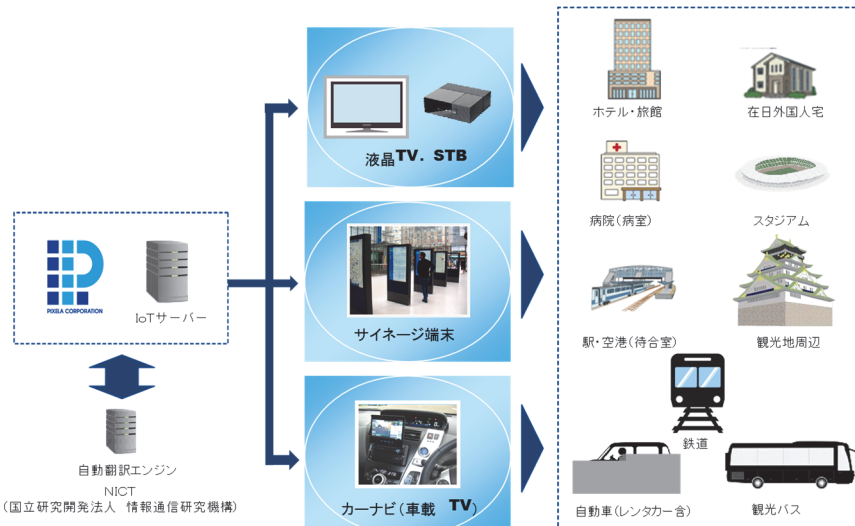
② インターネットでモノとモノをつなぐ IoT 関連事業

- ・ピクセラ社の得意分野であるハードウェアとソフトウェアの融合技術により、低消費電力/低価格のチップセンサーや関連機器を開発し、「安全」、「安心」、「見守り」、「介護」をテーマにして、セキュリティや見守り（高齢者、ペット、監視など）、防災サービス分野に展開してまいります。



③ 自動多言語翻訳システム事業

- ・ハードウェアとソフトウェアの融合技術を成長期待の高いインバウンド市場向けのサービス展開にも活用。
- ・総務省所管のNICT（情報通信研究機構）が開発した27ヶ国語に対応可能な精度の高い自動翻訳エンジンを活用し、ピクセラ社のサーバーにてクラウドで自動翻訳を展開するシステムを独自開発してまいります。
- ・アプリによる展開と違いクラウド展開を同社にて一気通貫で開発する為、ユーザーへ精度の高い自動翻訳の提供が可能となります。
- ・増加する外国人旅行者向けにホテル・旅館、また、病院・在日外国人宅向けにスマートフォン、タブレット、液晶テレビ及びセットトップボックスを通じた翻訳サービス並びに防災情報の提供を計画。



5. 投資実行の予定日

払込期日：平成27年8月3日

6. ピクセラ会社概要（平成27年3月31日現在）

- (1) 商 号：株式会社ピクセラ（東証2部 6731）
- (2) 代 表 者：代表取締役社長 藤岡 浩
- (3) 所 在 地：大阪府大阪市浪速区難波中2丁目10番70号 パークスタワー
- (4) 設 立：昭和57年（1982年）6月
- (5) 事 業 内 容：ホームAV事業、パソコン関連事業、AVソフトウェア事業、光触媒関連事業
- (6) 決 算 期：9月
- (7) 従 業 員 数：132名（連結）
- (8) 資 本 金：13億44百万円
- (9) 発行済株式総数：14,678,981株
- (10) 株 主 構 成：藤岡 浩 17.29%、株式会社エス・エス・ディ 10.04% 他
- (11) U R L：<http://www.pixela.co.jp/>

7. 本投資について

株式市場は日本経済の復活に伴い、上場企業の時価総額は2009年の307兆円から600兆円規模となり、2012年末の日経平均10,230円から大転換となり20,000円へと上昇しました。

こうした環境のもと、日本経済を牽引する上場企業3,550社中、いまだ時価総額100億円未満の上場企業数は約1,300社あります。また、新興市場や低位株市場において成長戦略が必要な企業も数多く存在します。

その中には、日本経済の根底にある技術を支えている企業もあり、当社は、それら企業に対し、投資銀行として新興市場や低位株市場の企業に向けたエクイティファイナンスと成長シナリオの支援を行うことを使命としています。

当社は、新興市場の成長支援投資の分野において、独立系投資銀行としての役割は小さくとも、日本経済の復活を築く礎の役割を果たして参ります。

この度の投資先であるピクセラ社は、新たに参入する3つの事業分野を戦略のメインテーマとし、ソフトウェア及びハード企画開発並びにメンテナンスまで担うデジタルトータルソリューションカンパニーを目指してまいります。

当社は、同社の成長戦略の推進を後押しすることにより、早期収益化が図られ、同社の業績ならびに企業価値の向上に繋がるものと考えております。

以 上